○水生生物モニタリング調査結果一覧(阿武隈川A、B)

<阿武隈川A,B 水質底質採取項目>

項目	一般分	析項目	放射性物質分析項目								
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)					
A - 1	0	0	0	0	0	0					
A - 2	0	0	0	-	0	-					
B - 1	0	0	0	-	0	-					
B - 2	0	0	0	-	0	-					
B - 3	0	0	0	-	0	_					

<阿武隈川A,B 現場測定項目>

1 1 2 4 1 2 4 1 2 4 7 1 2 - 3 7	7 1-1/2 Jun Val - 2 1/2 1													
項目	調査緯原	度・経度		調査日時		水質		底		その他				
調査地点	緯度	経度	日	時刻(水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
A-1(表層)	37. 6210°	140. 5218°		09:06	09:21	25. 3	23. 9	砂混泥	2. 5Y2/1	なし	5. 60	>50		
A-1(下層)	37.0210	140. 5216		08:57	09.21	25. 0	23. 9	119/12/15	2. 312/1	なし	5.00	(0.9m)*		
A - 2	37. 5673°	140. 3946°	H28. 9. 7	10:57	11:07	20.6	20.6	砂混泥	2. 5Y4/3	根	0.98	40		
B - 1	37. 7843°	140. 4924°	1120. 9. 1	14:37	14:43	27. 3	26.8	砂混泥	2.5Y4/3	なし	0.64	46		
B - 2	37. 8121°	140. 5058°		13:46	13:51	26. 3	24. 1	砂	2.5Y4/3	なし	0.70	48		
B - 3	37. 8182°	140. 4679°		12:56	13:01	22.6	22. 1	砂	2.5Y4/2	なし	0.50	>50		

*:()内の数値は、透明度を示す。

<阿武隈川A,B 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

11 3 2 4 2 2 7 1 1 1 1 7	2 /3//3 1/1 /	(日 70人7111上1799	X 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	時刻 (mg/L)												
項目	調査緯度・経度		調査	調査日時		BOD	COD	DO	電気伝導率	塩分	TOC	SS	濁度	Cs-134	Cs-137	Sr-90
調査地点	緯度	経度	H	時刻		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mS/m)		(mg/L)	(mg/L)	(度)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)
A-1(表層)	37. 6210°	140. 5218°	218°	09:06	7. 3	1.1	4. 4	8. 3	15. 6	0.08	1.6	13	4. 9	0.0082	0.041	0.0013
A-1(下層)	37.0210	140. 5216		08:57	7. 4	1.3	5. 1	8. 4		0.08	1.8	15	6. 3	0.019	0.10	
A - 2	37. 5673°	140. 3946°	H28. 9. 7	10:57	7. 5	0.9	4. 6	9. 2	8.8	0.05	2. 0	4	3. 2	0.0076	0.037	_
B - 1	37. 7843°	140. 4924°	1120. 9. 1	14:37	7. 6	1.0	4. 7	8.6	15. 4	0.08	1.6	14	6. 4	0.0077	0.037	_
B - 2	37. 8121°	140. 5058°		13:46	7. 6	1.0	4. 1	8.8	15. 0	0.08	1. 6	14	6. 2	0.0048	0.019	_
B - 3	37. 8182°	140, 4679°		12:56	7. 6	0.5	3. 7	9.4	8, 6	0.05	1.6	6	6.8	0.0034	0, 018	_

<阿武隈川A,B 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

百日	調査緯度・経度		= 1	口味							粒度組成								1															
切り カー			調査日時		рН	酸化還元電位	含水率	IL	TOC	土粒子の密度	礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土	中央粒径	最大粒径	Cs-134	Cs-137	Sr-90													
	緯度	経度	п	п	П	В	В	п	н	п	В	П			п	п	時刻	左 友川	E _{N. H. E}					$(2\sim75\text{mm})$	(0.85∼2mm)	(0.25∼0.85mm)	(0.075~0.25mm)	(0.005∼0.075mm)	(0.005mm未満)					
調査地点	//年/文	性及	Н	2		(mV)	(%)	(%)	(mg/g-dry)	(g/cm^3)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(mm)	(mm)	(Bq/kg-dry)	(Bq/kg-dry)	(Bq/kg-dry)													
A - 1	37.6210°	140. 5218°		09:21	7.4	110	56.0	10.3	26. 7	2.610	0.0	0.7	1.8	8. 5	46. 1	42. 9	0.0088	2.0	620	3500	0.92													
A-2	37. 5673°	140. 3946°		11:07	7. 0	173	54.8	8. 9	22. 9	2. 644	1.6	5.0	21.9	24. 2	27. 5	19.8	0.099	9.5	150	880	_													
B-1	37. 7843°	140. 4924°	H28. 9. 7	14:43	7. 2	217	47. 5	5. 0	5. 1	2. 679	0.0	0.1	12. 5	40.3	29. 3	17.8	0.10	2.0	150	740	_													
B-2	37. 8121°	140. 5058°		13:51	7. 1	283	27. 5	2.0	2.4	2. 728	0. 1	4.0	55. 6	33.6	1.6	5. 1	0. 29	4.8	22	160	_													
B - 3	37. 8182°	140. 4679°		13:01	7. 4	256	12.8	1. 1	2.1	2. 665	46. 4	34. 2	14.8	2. 9	0.5	1. 2	1. 9	9.5	19	85	_													

<阿武隈川A,B 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯	度・経度	採取日	門	細	目	科	学名	和名	個体数	採取重量		特記事項		放射性	セシウム(Bq/k	g-wet)	Sr-90
地点	1木以物力	緯度	経度	1米以口	11	孙叫	Ħ	14	于相	和右	四件数	(kg-wet)	成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	(Bq/kg-wet)
					節足動物	昆虫	トンホ゛	エゾ゛トンホ゛	Macromia amphigena amphigena	コヤマトンボ									
					節足動物	昆虫	トンホ゛	オニヤンマ	Anotogaster sieboldii	オニヤンマ	10	0.0066	幼虫 (ヤゴ)	_	_	32. 9	6. 9	26	_
					節足動物	昆虫	トンホ゛	サナエトンホ゛	Sieboldius albardae	コオニヤンマ									
					節足動物	軟甲	IL.	ヌマエヒ゛	Neocaridina sp.	カワリヌマエビ属	161	0.040	成体	_	_	31. 3	4. 3	27	-
A-2	原瀬川	37. 5673°	140. 3946°	H28, 8, 19	軟体動物	腹足	盤足目	カワニナ	Semisulcospira libertina	カワニナ	51	0.022	成体	_	軟体部	26. 0	3. 0	23	_
A-2	/宋/积/川	31. 5013	140. 3940	1120. 0. 19	脊椎動物	硬骨魚	그イ	그イ	Phoxinus lagowskii steindachneri	アブラハヤ	18	0.019	未成魚	_	_	7. 1	N. D. (2.0)	7. 1	_
					脊椎動物	硬骨魚	기	ト゛シ゛ョウ	Misgurnus anguillicaudatus	ドジョウ	84	0.096	未成魚/成魚	_	_	8.3	1.6	6. 7	_
					脊椎動物	両生	無尾	アカカ゛エル	Rana rugosa	<u>ツチガエル</u>	9	0. 0055	055 成体	_	_	104	15	89	_
					脊椎動物	両生	無尾	アカカ゛エル	Rana porosa porosa	トウキョウダルマガエル	2	0.0055	从件			104	10	09	
					粗粒状有機物	_	_	_	_	水底落葉等	_	0. 20	_	_	_	62	10	52	_
				H28. 8. 7	脊椎動物	硬骨魚	기	크	Tribolodon hakonensis	ウグイ	4	1. 3	成魚	不明	内臓除去	17.8	2.8	15	0.25
				H28. 9. 2	脊椎動物	硬骨魚	21	21	Hemibarbus barbus	ニゴイ	4	6.0	成魚	不定形残渣	内臓除去	52. 1	9. 1	43	0.44
B-2	阿武隈川本流	37. 8121°	140. 5058°	H28. 8. 13	脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	Plecoglossus altivelis	アユ	59	2.6	未成魚/成魚	_	_	28. 9	4. 9	24	0.19
D 2	F-12(12)-17-1/10	01.0121	110.0000	H28. 8. 7	脊椎動物	硬骨魚	スス゛キ	サンフィッシュ	Micropterus dolomieu	コクチバス	2	0.69	. , , , , , ,	モクズガニ	内臓除去	12. 9	1. 9	11	_
				H28. 8. 26	脊椎動物	硬骨魚	スス゛キ	サンフィッシュ	Micropterus dolomieu	コクチバス	1	1.6	/5/4/111	魚類	内臓除去	40. 9	5. 9	35	0.31
				1120.0.20	脊椎動物	硬骨魚	ナマス゛	アメリカナマス゛	Ictalurus punctatus	アメリカナマズ	2	7. 1	成魚	オオシロカゲロウ	内臓除去	22. 2	3. 2	19	0.059
					藻類•植物	_	_	_	_	河床付着物(藻類を含む)	_	0.012	_	_	-	97	16	81	_
					節足動物	昆虫	トヒ゛ケラ	ヒケ゛ナカ゛カワトヒ゛ケゔ	Stenopsyche marmorata	ヒゲナガカワトビケラ	212	0.057	幼虫	_	_	44. 0	8. 0	36	_
					節足動物	昆虫	トンホ゛	エゾ゛トンホ゛	Macromia amphigena amphigena	コヤマトンボ			幼虫 (ヤゴ)	-	-		N. D. (1. 0)		-
					節足動物	昆虫	トンホ゛	サナエトンホ゛	Onychogomphus viridicostus	オナガサナエ	137	0. 038				2. 0		2.0	
					節足動物	昆虫	トンホ゛	サナエトンホ゛	Sieboldius albardae	コオニヤンマ	101	0.000				2. 0		2.0	
					節足動物	昆虫	トンホ゛	サナエトンホ゛	Davidius sp.	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	^ビトンボ	^ビ ト ンボ	Protohermes grandis	ヘビトンボ	54	0.029	幼虫	_	_	3.8	N. D. (1. 5)	3.8	
					節足動物	昆虫	^ビトンボ	^ビ ト ンボ	Parachauliodes japonicus	ヤマトクロスジヘビトンボ	01							0.0	
B-3	摺上川	37.8182°	140. 4679°	H28. 8. 20	節足動物	軟甲	エヒ゛	アメリカサ゛リカ゛ニ	Procambarus clarkii	アメリカザリガニ	1	0.025	成体	_	_	13. 0	3. 0	10	_
					脊椎動物	硬骨魚	カサコ゛	カシ゛カ	Cottus pollux	カジカ	10	0.11	未成魚	_	_	5. 31	0.91	4. 4	_
					脊椎動物	硬骨魚	그イ	21	Phoxinus lagowskii steindachneri	アブラハヤ	7	0.016	未成魚/成魚	_	_	4. 9	N. D. (2.8)	4. 9	_
					脊椎動物	硬骨魚	그イ	21	Tribolodon hakonensis	ウグイ	2	0.031	未成魚	_	_	6.6	N. D. (1. 2)	6. 6	_
					脊椎動物	硬骨魚	21	21	*** **	カワムツ	14	0.11	未成魚/成魚	-	_	5. 91	0.71	5. 2	_
					脊椎動物	硬骨魚	기	ト゛シ゛ョウ	Noemacheilus barbatulus	フクドジョウ	11	0.10	未成魚	_	_	4. 30	0.80	3. 5	_
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	Plecoglossus altivelis	アユ	5	0. 25	成魚	_	_	13. 2	2. 2	11	_
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	Oncorhynchus masou	ヤマメ	7	0.25	未成魚	ヒゲナガカワトビケラ	内臓除去	8.3	1. 1	7. 2	_
					粗粒状有機物	_	_	_	_	水底落葉等	_	0. 15	_	_	_	12.8	1.8	11	_

※1:生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2:水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3:複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4:生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓 (胃、腸) の除去が可能な試料については、 除去して測定した。

※5:プランクトン (浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6:河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7: N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8:放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。